

NITRO-Player リリースノート

Ver 1.3.0

任天堂株式会社発行

このドキュメントの内容は、機密情報であるため、
厳重な取り扱い、管理を行ってください。

目次

1	NITRO-Playerについて	4
1.1	NITRO-Playerバージョンアップ時の注意	4
1.2	IS-NITRO-DEBUGGERのバージョン	4
2	更新履歴	4
2.1	Version 1.3.0 (2007/03/14)	4
2.1.1	コンバートファイルタイプを指定してコンバート機能追加	4
2.2	Version 1.2.0 (2005/09/01)	4
2.2.1	MIDIリセット機能追加	4
2.2.2	コンバートログが一定文字数以上表示されないバグ修正	4
2.3	Version 1.1.1 (2005/06/06)	5
2.3.1	バージョンアップ時の注意	5
2.3.2	IS-NITRO-UICでの実行時不具合修正	5
2.3.3	リアルタイムMIDIポルタメント発音バグ修正	5
2.4	Version 1.1.0 (2005/03/28)	5
2.4.1	バージョンアップ時の注意	5
2.4.2	シーケンススキップ再生機能の追加	5
2.4.3	ハードディスク録音機能の追加	5
2.4.4	ウィンドウ位置の記憶	5
2.4.5	ショートカットキー割り当ての追加	5
2.4.6	バグ修正	6
2.4.6.1	ラベル無しシーケンスアーカイブを開くと暴走するバグ修正	6
2.5	Version 1.0.0 (2005/01/31)	6
2.5.1	バージョンアップ時の注意	6
2.5.2	ヒープシミュレーション機能追加	6
2.5.3	複数シーケンス同時再生機能追加	6
2.5.4	シーケンス変数参照／書き込み機能追加	6
2.5.5	チャンネルメーター改良	6
2.6	Version 0.2.0 (2004/12/06)	6
2.6.1	バージョンアップ時の注意	6
2.6.2	リストの並び替え対応	6
2.6.3	タイトルバーにパス表示	6
2.7	Version 0.1.0 (2004/11/10)	7
3	既知の問題点	8
3.1	ストリーム再生の音途切れ	8

改訂履歴

版	改訂日	改 訂 内 容	承認者	担当者
1.3.0	2007-03-14	1. Version 1.3.0 リリース		井田
1.2.0	2005-09-01	1. Version 1.2.0 リリース 2. NITRO-Player バージョンアップ時の注意を追加		井田
1.1.1	2005-06-06	1. Version 1.1.1 リリース		井田
1.1.0	2005-03-28	1. Version 1.1.0 リリース		井田
1.0.0	2005-01-31	1. Version 1.0.0 リリース 2. 既知の問題点に「ストリーム再生の音途切れ」を追加 3. “NITRO”を“ニンテンドーDS”に変更		井田
0.2.0	2004-12-06	Version 0.2.0 リリース		井田
0.1.0	2004-11-10	初版		井田

1 NITRO-Player について

NITRO-Player は、NITRO-Composer 用に作成したサウンドデータをニンテンドーDS 上で試聴することができるデータ作成支援アプリケーションです。

ユーザーは、PC のマウスやキーボードを使ってサウンドの再生・停止などの操作ができます。実際の再生はニンテンドーDS から行われますので、ゲームに組み込んだときの音そのままを確認できます。さらに、ゲームプログラムで変更できるテンポやボリュームなどのパラメータを、ツール上でリアルタイムに音を確認しながら調整できます。

NITRO-Player を使うに当たっては、「NITRO-Player ユーザーマニュアル (NITRO_Player_UserManual.pdf)」をご覧ください。

1.1 NITRO-Player バージョンアップ時の注意

NITRO-Player の DS 本体側プログラムを DS 開発用フラッシュカードに書き込んで使用している場合は、必ず最新の DS 本体側プログラムに書き込みなおした上で、使用してください。

1.2 IS-NITRO-DEBUGGER のバージョン

NITRO-Player を使用するためには、IS-NITRO-DEBUGGER のバージョンは、Version 1.15.0411.0900 以降が必要です。

2 更新履歴

2.1 Version 1.3.0 (2007/03/14)

2.1.1 コンバートファイルタイプを指定してコンバート機能追加

コンバートするファイルタイプを指定してコンバートする機能を追加しました。この機能を使うと、コンバート時間を短縮できる場合があります。詳しくは、「NITRO-Player ユーザーマニュアル」をご覧下さい。

2.2 Version 1.2.0 (2005/09/01)

2.2.1 MIDI リセット機能追加

NITRO-Player アプリケーションのメニューまたはツールバーボタンから、DS 実機の MIDI 機能を初期化することができるようになりました。

2.2.2 コンバートログが一定文字数以上表示されないバグ修正

NITRO-Player 上でコンバートしたときに表示されるログが、一定文字数以上表示されないという不具合がありました

が、修正されました。

2.3 Version 1.1.1 (2005/06/06)

2.3.1 バージョンアップ時の注意

NITRO-Player の DS 本体側プログラムを DS 開発用フラッシュカードに書き込んで使用している場合は、必ず最新の DS 本体側プログラムに書き込みなおした上で、使用してください。

2.3.2 IS-NITRO-UIC での実行時不具合修正

NITRO-Player Version 1.1.0 において、DS 本体側プログラムを DS 開発用フラッシュカードに書き込んで、IS-NITRO-UIC 上で使用していた場合、IS-NITRO-UIC が PC 側から認識されない問題がありましたが、修正されました。

2.3.3 リアルタイム MIDI ポルタメント発音バグ修正

リアルタイム MIDI 再生において、ポルタメントを使って発音した場合、音程変化の開始位置が正しくなかった問題がありましたが、修正されました。

2.4 Version 1.1.0 (2005/03/28)

2.4.1 バージョンアップ時の注意

NITRO-Player の DS 本体側プログラムを DS 開発用フラッシュカードに書き込んで使用している場合は、必ず最新の DS 本体側プログラムに書き込みなおした上で、使用してください。

2.4.2 シーケンススキップ再生機能の追加

シーケンスパネル上でスキップ量をティックで指定することで、シーケンスを再生するときに、指定した位置から再生できるようになりました。

この機能を使うに当たって、幾つか注意点があります。詳しくは、「NITRO-Player ユーザーマニュアル」をご覧ください。

2.4.3 ハードディスク録音機能の追加

サウンドキャプチャを使って取り込んだ波形データを、リアルタイムに PC のハードディスクへ録音できるようになりました。詳しくは、「NITRO-Player ユーザーマニュアル」をご覧ください。

2.4.4 ウィンドウ位置の記憶

NITRO-Player アプリケーション終了時のウィンドウ位置を記憶し、次回起動時に復元させるようにしました。

2.4.5 ショートカットキー割り当ての追加

以下のメニュー項目に対して、ショートカットキーを割り当てました。

- 「ファイル」->「再読込」 Ctrl+R
- 「再生」->「MIDI バンク」 Ctrl+B

2.4.6 バグ修正

2.4.6.1 ラベル無しシーケンスアーカイブを開くと暴走するバグ修正

シーケンスアーカイブ中のシーケンスにラベルを振っていない場合、NITRO-Player 上でシーケンスアーカイブのリストを表示させようとする、NITRO-Player が異常終了してしまうバグがありましたが、修正されました。

2.5 Version 1.0.0 (2005/01/31)

2.5.1 バージョンアップ時の注意

NITRO-Player の DS 本体側プログラムを DS 開発用フラッシュカードに書き込んで使用している場合は、必ず最新の DS 本体側プログラムに書き込みなおした上で、使用してください。

2.5.2 ヒープシミュレーション機能追加

サウンドデータのロードや破棄などの操作を行ったとき、ヒープの状態がどのように変化するかを確認できる、ヒープシミュレーション機能を追加しました。

2.5.3 複数シーケンス同時再生機能追加

新しく追加した16個のプレイヤーウィンドウにより、複数のシーケンスを同時に再生できるようになりました。

2.5.4 シーケンス変数参照／書き込み機能追加

シーケンス変数を、NITRO-Player 上から参照及び書き込みが行える、シーケンス変数パネルを追加しました。

2.5.5 チャンネルメーター改良

DS 本体の上画面に表示していたチャンネルメーターを下画面に表示するように変更し、より詳しい情報を表示するようにしました。

2.6 Version 0.2.0 (2004/12/06)

2.6.1 バージョンアップ時の注意

NITRO-Player の DS 本体側プログラムを DS 開発用フラッシュカードに書き込んで使用している場合は、必ず最新の DS 本体側プログラムに書き込みなおした上で、使用してください。

2.6.2 リストの並び替え対応

NITRO-Player アプリケーションのリストウィンドウで、ヘッダ部をクリックすると、クリックした項目についてソートが行われます。また、同じ項目を続けてクリックすると、並びの昇順、降順が入れ替わります。

2.6.3 タイトルバーにパス表示

NITRO-Player アプリケーションのタイトルバーに、開いたサウンドアーカイブのパス名を表示するようにしました。

2.7 Version 0.1.0 (2004/11/10)

最初のリリース

3 既知の問題点

3.1 ストリーム再生の音途切れ

NITRO-Player でのストリーム再生は、実際には ROM からリアルタイムにデータをロードするものを、PC から転送することで実現しています。従って、ストリーム再生中に音の途切れが生じる場合があります。特に ADPCM データの再生時には、顕著に発生します。

また逆に、NITRO-Player 上で音の途切れが発生しないとしても、ゲーム中での再生時に音の途切れが発生しない保証にはなりませんので、注意してください。

ストリーム再生の確認には、SoundPlayer のご利用をお勧めします。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。

© 2004-2007 Nintendo

任天堂株式会社の許諾を得ることなく、本書に記載されている内容の一部あるいは全部を無断で複製・複製・転写・頒布・貸与することを禁じます。